

元気・やる気・本気のまちづくり 土佐の南国ルネサンス構想

(4)

国土計画も現在の多極分散型国土形成の四全統(第四次全国総合開発計画)が見直されています。

東京一極集中のは正を掲げて取り組んできましたが、かならずしも成功はしていません。ただ、東京圏の人口が初め減少した事実は出てきました。

情報化時代になろうとしています。時代の流れに乗り遅れない先見性が求められています。

今は市を取り巻く状況を見てみましょう。

地球規模の対応

私たち市民一人ひとりを取り巻く状況や南国市を取り巻く状況も様がわりしていますね。

環境問題をはじめ、地球規模で「地球人」としての対応が求められていますね。東西が求められています。

高知空港は国際交流にも拍車をかけています。

高知空港から四十分で関西国際空港を経て世界と結ばれました。高知空港の拡張整備ができると直接、世界とつながります。

また、二〇一〇年(平成二十三年)には、すべての家庭が光ファイバーで結ばれ、双方の情報交換ができる高度

ご覧のネコくん、私も見た。俺も見た……けっこう多いのではないかでしょうか。体重はあの小鉄門の2倍の重さで、縦が5.50m横は2.5mのビッグキャット。石油製品で安全保険付きなのであります。

取り付けた犬猫病院の院長さん「いつの時代でも、病院にある人の気持ちは、やっぱり沈みがち。そんなお客様の心を少しでも柔らげられたら」との配慮で製作したそうです。

南国バイパス添いにあるこの病院、観光客の評判もよく、記念写真を撮って行く人もいたり、取材をされることもあるそうです。通園、通学の子供たちにもけっこう愛されていて「マイケル」というあだ名を付けられています。

活字よりも何か宣伝になる愉快なものをと、発案した院長先生「見つけた人が一緒に笑いながら通りすぎて行く光景がとてもうれしい」とのことでした。



リバーサイド 日曜市

物部川流域で親水広場が整備されてきました。このリバーサイドで流域内町村の特産品を販売する市を開いてみてはいかがですか。駐車場もたっぷりある「リバーサイド日曜市」なんてすばらしいと思います。

おもいっきり自然の中でおいしい野菜や花など、新鮮なものをいっぱい買って、地域の人々が交流する。シーズンにあわせてのイベント、物部川の美化、川遊びの復活など、香南地域のシンボルである物部川の活用は、ふるさと再発見になるのでは――。

南国市長(大浦)

アイディアポストより

即座に認め、起債返還の際には、その十分の八は特別交付金として交付されるので、同和地区的劣悪な環境や住宅の改善事業などは著しく進み、改めてこの実感を改善するため政府は、一九六九年(昭和四十四年)に「同和対策事業特別措置法」を制定し、地方自治体の実施する同和対策事業に対して特別の助成を行なつて事業を推進しました。

このように受けとめているのでしょうか。同和行政施策についての市民の意識調査では「同和地区だけに特別な事業をするのは不公平だ」と考えている人が前回は四七%いたのに対し、次回では、三五%に減つてはいるが好ましいこと

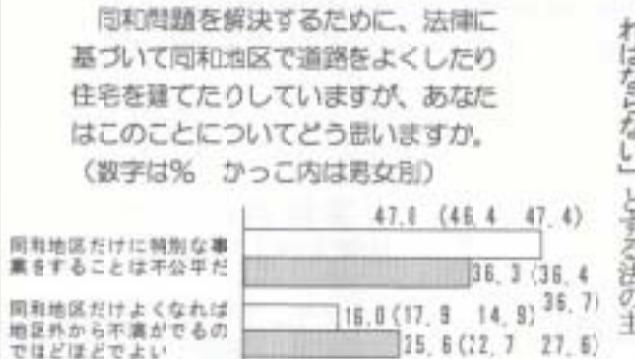
市民・県民の意識は?⑥

とです。しかし、「進めるべき」「必要なことである」と考えている人が約三割近くまで「不公平だ」・「ほどほどよい」と否定的な考え人が、前回、次回とも六三%を越えています。

このことは見送ることでいい重要なことです。

同和対策事業特別措置法の第三条(国民の義務)の項で、事業の本旨を理解して、相互通じての尊重するとともに、同和対策事業の円滑な

実施に協力するよう要めなければならぬ」とする法の主



とされています。女性が男性とともに多岐にわたる「男女共生社会」が強く求められています。

学習も大きな課題ですね。女性の社会参画や生涯障害者福祉サービスが課題になってきます。

「二〇〇〇年(平成十二年)には四人に一人が六十五歳以上で占められる『超高齢社会』が想定されます。特に、高知県は老齢人口比率が十五年も先行する全国第二位の高齢県です。高齢者障害者福祉サービスが課題になってしまいます。

また、健康や生きがい指向の社会でもあります。仕事第一主義から家庭や余暇、自由時間大切にする時代にも変わっています。ボランティア新時代という新たな状況も生まれていますね。

時代の背景や要請があるわけですね。

時代の流れに乗り遅れることがなく、時代を先取りした発想の転換をして総合計画をつくるなければなりません。

「妄想は大胆に、計画は周到に」というわけです。



一主義から家庭や余暇、自由時間大切にする時代にも変わっています。ボランティア新時代という新たな状況も生まれていますね。

時代の背景や要請があるわけですね。

時代の流れに乗り遅れることがなく、時代を先取りした発想の転換をして総合計画をつくるなければなりません。

「妄想は大胆に、計画は周到に」というわけです。